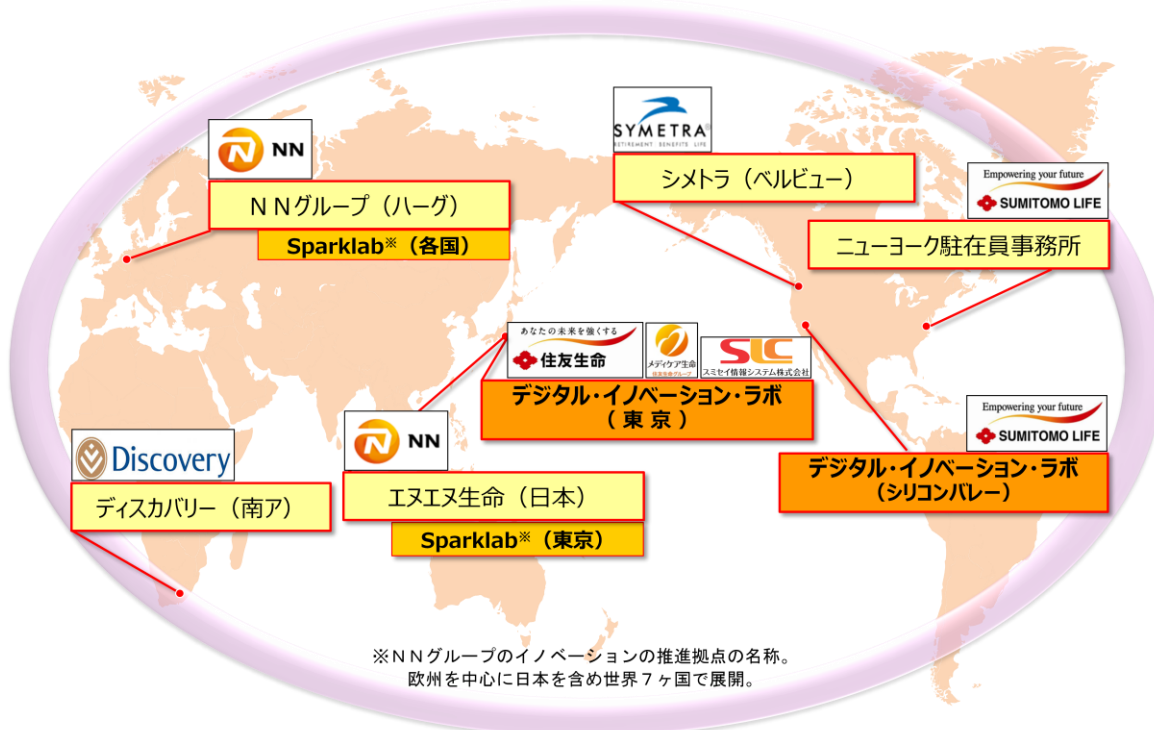


平成30年2月13日
住友生命保険相互会社

スミセイ・デジタル・イノベーション・ラボ（東京・米国）の開設について （Discovery・NNグループとの連携によるグローバルなイノベーション推進体制の構築）

住友生命保険相互会社（社長 橋本 雅博）は、デジタル変革期でのビジネスイノベーション、サービスイノベーションを加速する拠点として、平成30年4月より、東京と米国シリコンバレーに「スミセイ・デジタル・イノベーション・ラボ」を開設いたします。

同時に、Discovery（南アフリカ）、NNグループ（オランダ）とも本分野での連携を強めることで、グローバルな推進体制でイノベーションの加速を検討してまいります。



スミセイ・デジタル・イノベーション・ラボ

名称	所在地
スミセイ・デジタル・イノベーション・ラボ （東京）	東京都千代田区大手町1丁目6-1 The FinTech Center of Tokyo, FINOLAB*1
スミセイ・デジタル・イノベーション・ラボ （シリコンバレー）	440 N. Wolfe Rd., Sunnyvale, CA 94085 United States of America Plug and Play Tech Center*2

*1 FINOLAB は、世界有数の国際金融センターである東京・大手町エリアを拠点とする FinTech のエコシステムの形成および新規ビジネス創出を目的としたコミュニティ&スペースです。

*2 Plug and Play は年間160社以上のスタートアップに投資をしており、東京を含め世界に28の拠点を構えている世界で最大のイノベーションプラットフォームです。

■これまでの取組み

デジタルトランスフォーメーション時代が到来し、お客さまに新しい経験や価値を提供していくために、デジタルがますます重要な役割を担うようになってきています。

当社では、これまで部門横断的なプロジェクトチームを通じて、金融・保険分野における FinTech の活用等に取り組んでまいりました（**別紙**参照）。

■デジタル・イノベーション推進に向けて

今回設置する「スミセイ・デジタル・イノベーション・ラボ」では、今後もイノベーターなビジネス・サービスをスピーディーに創出していくために、自社だけではなく様々な強みを有したスタートアップ企業等と協業してまいります。国内では子会社のメディケア生命保険株式会社、スミセイ情報システム株式会社ともグループ横断的に推進すると共に、外部の知見の積極的活用や異業種との連携等によって新規ビジネスモデルの創造・事業化等に取り組んでいく予定です。

特に、シリコンバレーでは、ベンチャー企業の支援を手掛ける Plug and Play^(※1) に加盟し、当社100%子会社であるシメトラとも協業して現地でのネットワークづくりを加速することで、最新テクノロジーの収集力向上と迅速な PoC（実証実験）を通じて、イノベーターなビジネス・サービスの創造を目指してまいります。

また、イノベーション・グローバル人材の育成・確保にも取組み、デジタルビジネスに関わる社外のコミュニティへ積極的に参画、オープンイノベーション、ハッカソン等、デジタル・イノベーションに向けた様々な取組みを推進してまいります。

併せて、法人向け事業保険商品の販売で提携しているエヌエヌ生命保険株式会社および NNグループ（オランダ）^(※2) とデジタル・イノベーションの分野でも協力関係を築いてまいります。

当社は南アフリカの金融サービス会社 Discovery と健康増進型保険の開発で提携し、グローバルに評価を得ている Discovery のウェルネスプログラム「Vitality」を日本市場に導入する「Japan Vitality Project」に取り組んでおります。この取組みは、お客さま、世の中全体を健康にしていくという社会的な価値につながり、また、当社におけるデジタル・イノベーションの一環でもあり、ウェアラブル端末によって収集する運動データ等をビッグデータとして活用することで、新商品やサービスの開発につなげていくことも検討しております。

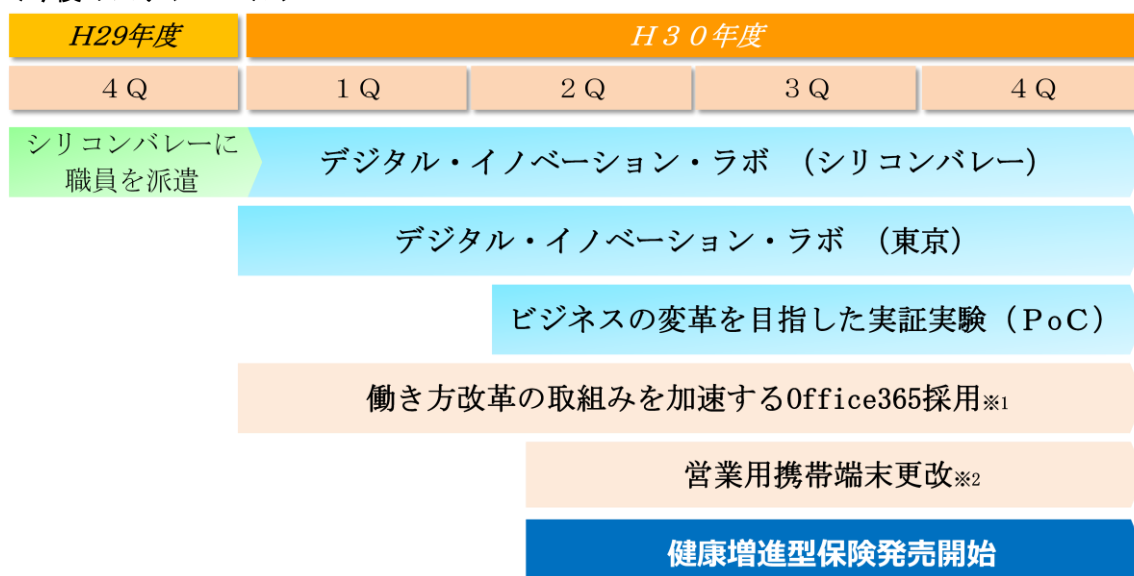
(※1) 米国シリコンバレーに本部があるベンチャー企業の支援企業で、ベンチャー企業向け育成プログラム（アクセラレータ・プログラム）を開催し、大学・研究機関、各業界の先進的な企業、投資家など幅広いネットワークを保持しています。当社は「アンカー会員」として加盟しており、本年1月から開設準備のため職員を派遣しております。

(※2) エヌエヌ生命はオランダの金融グループである NNグループの日本法人であり、NNグループは欧州を中心に日本を含め世界7ヶ国でイノベーションの推進拠点である「Sparklab」を展開しています。

<FinTech 活用等の検討（実証実験例）>

分野	テーマ	活用技術
保険販売	リコメンド提供による販売活動の効率化	ビッグデータ、人工知能
	非対面チャネルによる顧客アプローチの強化 ならびにマーケティングツールの効果検証	デジタルマーケティング
サービス	サービスの高度化 (コールセンター対応、顧客利便性向上)	人工知能
資産運用	資産運用におけるリスク予測精度向上	ビッグデータ、人工知能
業務効率化	職員向けサポートデスクへの照会対応自動化	人工知能
	入力等業務の機械化	R P A (Robotic Process Automation)
	診断書等テキストの自動認識等	人工知能
新ビジネス (検討中)	P 2 P (Peer to Peer) ネットワークの 保険業への適用可能性の検証	ブロックチェーン、 スマートコントラクト
	データビジネス (Vitality で収集するデータ の利活用) の可能性	ビッグデータ

<今後のスケジュール>



※1：日本マイクロソフトの統合型情報共有クラウドサービス「Office 365」を採用し、より迅速なコミュニケーション、コラボレーション、テレワークを実現し、働き方改革の取組みを加速します。

※2：営業用携帯端末更改で導入する新型タブレット端末では、保険契約に関する各種手続きを電子化・デジタル化しスムーズな事務手続きを実現。また、スマセイライフデザイナーがタブレット端末へアクセスする際に顔認証AIエンジンNEC「NeoFace」による認証を導入します。